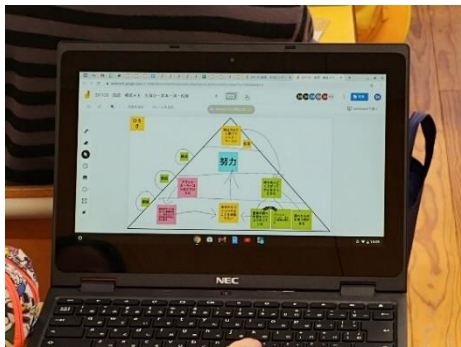


11月25日 春日井市立藤山台小学校オンライン研究発表会

春日井市では、「かすがいスタンダード」を基礎にして、学習規律の徹底とICTの効果的活用を意識した授業作りを市内で行っている。春日井市立藤山台小学校では、【見方・考え方を育み、働かせる授業展開の工夫-くり返しによる学びの積み上げをめざして-】の研究主題のもと、様々な教科で言語活動を継続的に行うと共に、見方・考え方の育成を図り、「比べる」「つなげる」「整理する」の3つを「基礎となる見方・考え方」として授業に取り組んでいる。6年生にタブレット端末(Chromebook)を先行して割り当て、Google Workspace(G Suite for Education)のClassroomを中心に利用している。

<Classroomの便利な点>

- 課題の配布・提出・評価が素早くできる。
- 授業教材を簡単に共有できる。
- アプリを組み合わせると同期型のコミュニケーションがとれる。



Jamboard アプリで、色別の付箋に書き込み、貼り付けるなどの共同編集を通して、他の意見を参考にしながら自分の考えを深めている。



積極的に意見交換している。協働して作業を進めることで、各自が主体的に取り組んでいる。



リアルタイムで友達が書き込んでいる様子を見ることが出来る。



各教室に実物投影机、超短焦点プロジェクターと移動式スクリーンを設置している。